

四代藩主 伊達綱村

仙台市博物館 学芸企画室 明石治郎



隠居へ

いて大年寺を、仙姫の菩提寺として万寿寺を建立します。加えて亀岡八幡宮の造営や塩竈神社の修築も行いました。ただし、これらの出費は藩財政を圧迫することになります。

綱村治政の後期になると、側近を重用する独裁的藩政は、寺社建造による財政窮乏などと相まって、一門や重臣たちの反発を招きます。元禄六年（一六九三）に一門衆による

起こします。両後見人は責任を問われて処罰され、綱村による藩政が開始されます。ここに綱宗の隠居（「万治事件」）に始まる伊達騒動は収束しました。寛文二年（一六六二）のことです。

伊達騒動のなかで

綱村は、万治二年（一六五九）に三代藩主綱宗の長男として江戸浜屋敷（港区東新橋）に生まれました。母は側室三沢初子です。幼名は亀千代。寛文九年（一六六九）に一二歳で元服し、綱基と名乗ります。綱村への改名は一九歳の時です。

綱村の藩政

さて、万治三年に父綱宗は不行跡により隠居に追い込まれ、綱村はわずか二歳で藩主となります。藩政は、幕府が毎年派遣する国目付の監視のもと、後見人となった伊達兵部宗勝（大叔父）・田村右京宗良（伯父）の指図によって運営されることになりました。しかし、この後見人体制は安定せず、凄惨な刃傷事件をとどめとする「寛文事件」を引き

この時一三歳の綱村は若年のため咎めはなく、仙台藩六二万石も安堵されるものの、幕府国目付の派遣は延宝二年（一六七四）まで続きます。また綱村は、延宝五年に老中稲葉正則の娘仙姫を正室に迎えますが、正則は天和年間（一六八一～一六八四）頃まで仙台藩政全般について関与しますので、綱村治世の前半期は幕府の監督下にあつたわけですから。とはいえ綱村は、仙台への初入国を果たす延宝三年頃から、自らの藩政を展開していきます。

まず、幾度にもわたる役職の整備や制度の改変、あるいは人材登用を通じて、家臣団を掌握し、有力家臣を抑え、藩主権力の確立をはかりました。また、封建的秩序を重んじる儒学を奨励します。儒学者たちに命じて、伊達家の正統な系譜の作成や歴史編纂も行いました。その成果が、『伊達出自世次考』『伊達正統世次考』や『治家記録』です。

さらに仏教にも傾倒し、母初子の供養のため榴ヶ岡に釈迦堂を、黄檗宗の高僧鉄牛を招

※本稿では仙台市博物館の学術研究機関たる立場から歴史上の人物名に敬称を付し ておりません。



『伊達正統世次考』（仙台市博物館所蔵）
伊達家初代朝宗から15代晴宗までの系譜

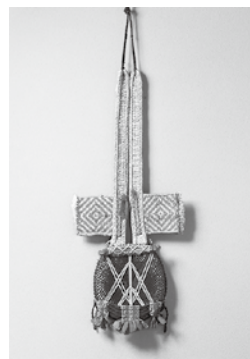
宮城県民芸協会設立50周年記念 企画展

日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本
—柳宗悦のまなざし—

4月20日（金）～6月3日（日）

大正時代、思想家・柳宗悦は日常生活用具の中に美を見出し、全国を旅してそれらの品々を収集しました。この企画展では、柳が著書『手仕事の日本』に取り上げた各地の民芸品や芹沢銈介の『日本民藝地図』など数々の優品を紹介します。

【観覧料】常設展料金でご覧いただけます。
一般・大学生460円(360円)、高校生230円(180円)
小・中学生110円(90円) ※ ()内は30名以上の団体料金



背中当 山形県羽前庄内 一九三九年 日本民藝館蔵

博物館は
平成30年3月31日(土)から
再開館いたします。

現在、館内設備改修工事のため休館しておりますが、3月31日(土)9時から再開館いたします。

●3月31日(土)から6月10日(日)まで

旬の常設展2018春

「戊辰戦争150年特集-幕末の仙台藩の動向-」

今年が戊辰戦争から150年となることから、幕末の仙台藩関連資料を展示するほか、3/31(土)～5/27(日)の期間は、ユネスコ記憶遺産・国宝の「支倉常長像」「ローマ教皇パウロ五世像」「ローマ市公民権證書」の3点すべてを展示します。

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM TEL:022-225-3074

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶ ツイッター @sendai_shihaku

仙台市博物館 検索